

# 予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名 **新**都市農村交流推進事業費補助金

(新型コロナ対応分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 農村企画係 電話番号：058-272-1111 (内 3173)

E-mail: [c11427@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11427@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 補正要求額 9,600千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,600	0	0	0	0	0	0	0	9,600
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症対策として、農林漁業体験施設が、「新たな日常」に対応した安全・安心な体験を提供するために必要な経費を補助する。

### (2) 事業内容

・密閉、密接、衛生対策等に必要な経費の支援

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率 定額：9,600千円

岐阜県農林漁業体験施設を支援するため、県負担とする。

この事業は、体験施設が、「新たな日常」に対応した安全・安心な体験に必要な対策を実施するものに対し助成するものであり、「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会に事務を委託（補助）し、実施する。

都市農村交流推進事業は、県が体験施設に対し、予約サイトへの登録サポート及び予約サイトにおいて割引クーポンを発行するものである

### (4) 類似事業の有無

有 「新たな日常」対応宿泊施設応援推進事業費補助金

「新しい日常」へ対応するために県内宿泊事業者が実施する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために必要な物品、備品等の購入（消耗品は除く）、施設の工事等に必要な費用の一部を補助する。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,600	密閉、密接、衛生対策等に必要な経費、誘客促進に係る経費
合計	9,600	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

### (2) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

## 県単独補助金事業評価調査書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	都市農村交流推進事業費補助金（新型コロナ対応分）
補助事業者（団体）	「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会 （理由）県下全域でグリーン・ツーリズムの推進に取り組む唯一の団体であるため。
補助事業の概要	（目的）岐阜県農林漁業体験施設に対し、「新たな日常」に対応した安全・安心な体験を提供するための必要な経費を支援する。 （内容）密閉、密接、衛生対策等に必要な経費、または誘客促進に係る経費を支援する。
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）10/10：9,600千円 岐阜県農林漁業体験施設 100千円×90施設 助成に係る事務費 600千円 （理由）岐阜県農林漁業体験施設の新型コロナウイルス感染症対策に要する経費
補助効果	新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ岐阜県農林漁業体験者数を早期に回復させる
終期の設定	終期令和2年度 （理由）

### （事業目標）

安全・安心な農林漁業体験を提供することで、都市住民の田園回帰を促し、農村交流体験者や移住者などが増加することにより、県内農村地域の活性化を図る。

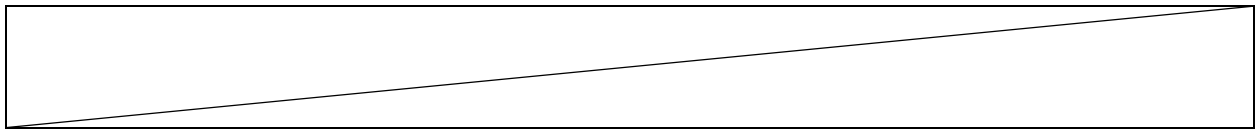
### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R1年度末)	目標 (終期)
① 農林漁業体験者数	211千人	調査中	280千人

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (要求)
補助金交付実績	/	/	/	/	(要求額) 9,600千円
指標①目標	/	/	/	/	180千人
指標①実績	/	/	/	/	(推計値) —

指標①達成率					(推計値) — %
--------	--	--	--	--	--------------

(前年度の成果)



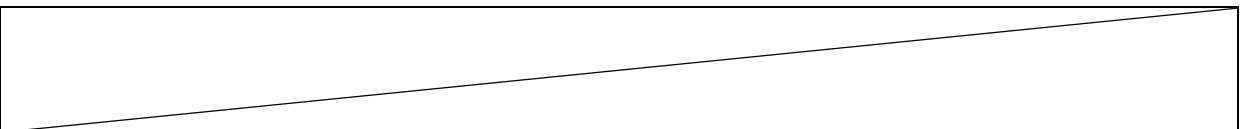
(今後の課題)

コロナ社会において都市住民の田園回帰への注目が高くなっており、農山村の地域資源を活かした農泊、グリーン・ツーリズム等の推進は、農村地域の活性化及び農村ビジネスにつながるため、継続的にPRを実施し、関係・交流人口の増加を図る。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</li> <li>○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	after コロナに向けて、体験施設の新型コロナウイルス感染症対策を促進し、安全・安心な農林漁業体験を提供する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</li> <li>○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている</li> <li>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</li> <li>○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

(事業の見直し検討)



(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・**廃止**  
 (理由)  
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて緊急措置として実施するものであり、令和2年度のみ対応とする。